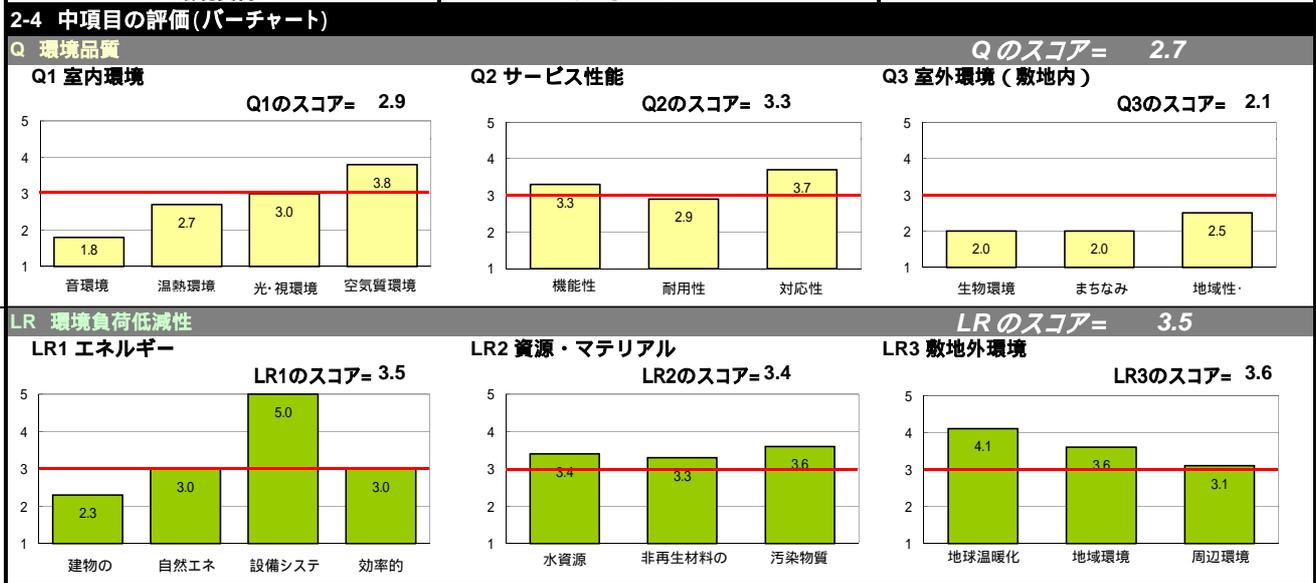
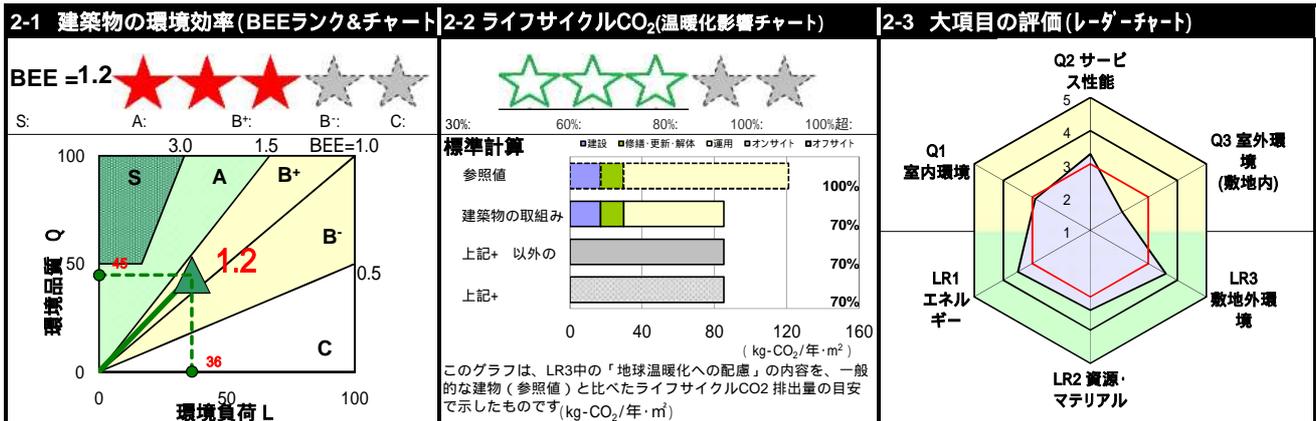


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マックスバリュ相模原東橋本店 新築工事	階数	地上2F
建設地	相模原市緑区東橋本3丁目148-1	構造	S造
用途地域	第2種住居、準防火地域	平均居住人員	550 人
気候区分		年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年6月 竣工	評価の実施日	2014年3月10日
敷地面積	4,202 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支店
建築面積	2,857 m ²	確認日	2014年3月10日
延床面積	5,547 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支店



3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。高効率機器の採用、LED照明の採用等、省エネルギーに配慮している。	
Q1 室内環境 F 建材を全面的に採用、また、建築基準法および建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍以上とするなど空気質環境に十分配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー 高効率空調機、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器や自動水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。発泡剤を用いた断熱材を採用しないなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=70%として、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される